



年頭所感



日本合板商業組合
理事長 足立 建一郎

新年明けましておめでとうございます。

組合員の皆さま、賛助会員の皆さま、本年も宜しくお願い申し上げます。

さて、昨年の世界情勢は、長引くウクライナ紛争に加え中東情勢の悪化など地政学リスクの高まりがあるものの、高インフレの鎮静化や貿易の持ち直しなどを背景に、底堅い成長を維持しました。7月～9月期の実質 GDP は、米国では前期比年率+2.8%と高い成長率を維持し、EUにおいても前期から成長率が加速した一方、中国は不動産市況の悪化などにより、消費が伸び悩み成長は鈍化傾向にあります。国内に目を向けると、同期の実質 GDP 成長率は前期比年率+0.9%と、2四半期連続のプラス成長となっています。こうした伸びは、6月～7月に行われた定額減税により所得が押し上げられた結果、個人消費が成長の牽引役になったと推測されます。

本年の世界経済は、高インフレの鎮静化に伴う利下げの継続などが予想され、緩やかな成長が続くと思われますが、第2次トランプ政権の政策が今後どのように世界経済に影響を及ぼすか注視が必要です。

業界環境として昨年の国内住宅需要は、資材の高騰に加え人手不足による人件費の高騰等により住宅価格は高止まり、1月から10月までの新設住宅着工戸数は微減の前年比96.4%、持家は前年比95.3%、分譲戸建は前年比88.2%と弱含みで推移しました。本年は、住宅産業界にとって大きな転機を迎える法律の改正があります。「4号特例の縮小」や「省エネ基準適合義務化」などにより、住宅の資産価値は上がり性能向上に繋がる一方、住宅価格の上昇に拍車をかける可能性もありますが、いずれの法律も脱炭素社会の実現に繋がる重要な法改正になり、建築コストの上昇はあ

るものの、資産価値が高く高性能な住宅投資に移行していくことが伺えます。

一方、国内の合板需要は、持家の減少に加え床面積が減少したことで需要は落ち込み、価格は不安定な状態が続きました。国産合板は生産調整を継続しているものの、需要側は当用買いを継続し市況は低迷しました。また輸入合板は、国内需要の低迷に加え為替相場の変動により先行き不透明感が漂い、国産合板同様に当用買いが継続されました。なお、昨年11月末に主要国内合板メーカーから合板価格の堅持が示されたこともあり、本年は需給バランスが保たれることに期待します。

このような環境のなか、日合商は合板をはじめとする建材需要の安定化や合法伐採木材等の普及・利用拡大に努めて参りました。本年は、改正クリーンウッド法が施行され、合法伐採木材の更なる利活用に向け拍車がかかります。住宅省エネ化への取り組みは勿論のこと、合法伐採木材等の利活用及び非住宅への取り組み拡大等、国の施策を見据えた取り組みを会員の皆さまと共に進めて参ります。

日合商の会勢強化につきましては、合法伐採木材の供給事業者認定取得のための新規加入がある一方、事業撤廃や合併等による退会により、組合員数は724社(2024年11月末日)となっています。引き続き、組合員・準会員・賛助会員の皆さまのご協力を仰ぎ、会勢強化への取り組みにむけて邁進していく所存です。

本年も、会員相互の「協調と連帯」のもと、会員の皆様の事業拡大と強化に貢献し、共に成果を手に入れる年となることを祈念し、年頭のご挨拶とさせていただきます。



GEO × LIVE
地球 × 生きる



GEOLIVE

次の生き方をつくろう。



2024 年 12 月 18 日（水）

木の総合文化・ウッドレガシー推進協議会で 日合商の要望事項を発表

木の総合文化（ウッドレガシー）を推進する議員連盟（会長：坂本哲史衆議院議員）との「民政官合同会議・第 8 回要望活動発表」が開催され、日合商から

- 1 高齢化社会に伴う在宅介護の増加に備え、住宅のバリアフリー化への補助の拡充
- 2 住宅・建築物耐震改修事業の更なる周知と補助の拡充
- 3 「子育てエコホーム支援事業」並びに「長期優良住宅化リフォーム推進事業」の更なる推進・次年度以降の事業の継続と補助の拡充
- 4 花粉症対策木材利用促進事業助成金のエントリ期間の延長と使途の拡大及び事業の継続の 4 項目を要望しました。



挨拶に立つ坂本哲史衆議院議員

2024 年度より会員の皆様の 福利厚生サービスの向上を図るため 福利厚生制度 「損害保険 / 集団扱制度」 ご紹介！

- メリット 1
保険料が割安！
- メリット 2
制度対象者の幅広さ
- メリット 3
スムーズなお支払い！



詳細はこちらから

JK 情報センター

2025 年 1 月～3 月 需要動向予測調査より（抜粋）

工務店・販売店様による需要予測

国土交通省から発表されている 1 月～9 月までの新設住宅着工数は、累計で前年比 96.3%（59 万 4,435 戸）となった。その中でも持家が前年比 93.8%、分譲住宅一戸建てが同 87.8%と戸建て住宅の不振が続いている。

そのような中、2025 年 1 月～3 月の需要予測がまとまった。工務店・販売店の需要予測では、工務店がマイナス 19.6 ポイント、販売店がマイナス 24.5 ポイントと前回調査（2024 年 10 月～12 月）から大きく改善し、マイナスポイントは 3 回連続で縮小している。

地域別では、前回の調査よりポイントが改善したエリアが、東北・関東・近畿・中国・四国・九州と増えており、近畿は北陸に続いてプラスポイントの予測になった。

近年の需要予測では 1 月～3 月の予測の次にあたる春先の需要予測が下降し、徐々に回復していく傾向が 2 年続いている。

2025 年は 4 月に省エネ基準の適合義務化や 4 号特例の縮小の施行が予定されるが、どう影響してくるのか。次回の需要予測にも注目したい。

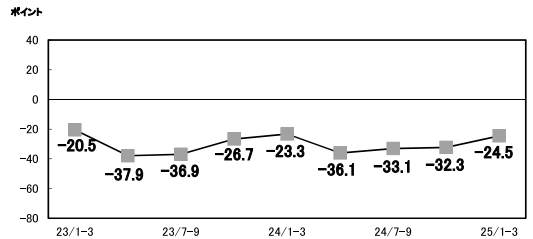
主要メーカー様による販売予測

主力メーカーの販売予測では、ほとんどの分野で前回の調査より減少予測が低下した。一方で前回までの調査で 3 回連続増加予測が減少予測を上回り、プラスポイントとなっていた住設機器の分野が、今回の調査で唯一減少予測が高まった。堅調に推移していた住設機器も今後の動向に気をつけたい。

	増加予測	前年並予測	減少予測
合 板	8.3%	33.3%	58.4%
木質建材	26.7%	40.0%	33.3%
窯業・断熱	17.6%	53.0%	29.4%
住設機器	19.4%	45.6%	35.0%

販売店様による景気動向の推移

過去 2 年間の仕事量の見通しをポイントで表したグラフ。

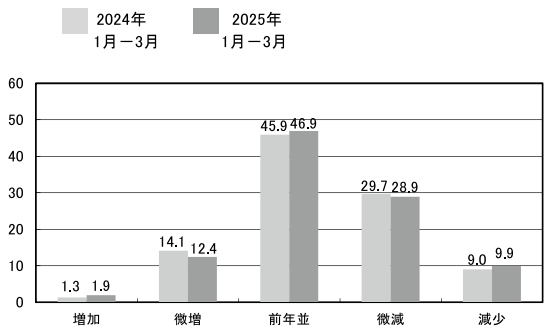


販売店様による需要予測

全国 回答数 2,427

「増加」「微増」「前年並」「微減」「減少」の中からお選び頂き、総回答数よりそれぞれの割合を算出しました。

単位は「%」となります。



東京の合板卸売り価格（円）※東京都ベニヤ板問屋協同組合、日本合板商業組合「市況通信」より

（注）1 車単位（10 トン）問屋売り価格・90 日手形（JAS 製品）

品 目	12 月 4 日	前週比	12 月 11 日	前週比	12 月 18 日	前週比	12 月 25 日	前週比
ラワン JAS F☆☆☆☆	2.3mm T2	900	0	900	0	900	920	+20
	4.0mm //	1,200	0	1,200	0	1,200	1,200	0
	5.5mm //	1,380	0	1,380	0	1,380	1,380	0
	9.0mm //	1,980	0	1,980	0	1,980	2,000	+20
	12.0mm //	2,530	0	2,530	0	2,530	2,550	+20
針葉樹 構造用	F☆☆☆☆ 12mm C-D	1,450	0	1,450	0	1,450	1,450	0
	F☆☆☆☆ 24mm 実付	3,400	0	3,400	0	3,400	3,400	0
	F☆☆☆☆ 28mm 実付	4,150	0	4,150	0	4,150	4,150	0
	F☆☆☆☆ 9mm 3×10	2,500	0	2,500	0	2,500	2,500	0
輸入・型枠用	12mm JAS 製品	1,900	0	1,900	0	1,900	1,910	+10
輸入・構造用	F☆☆☆☆12mm JAS 製品	1,950	0	1,950	0	1,950	1,960	+10



セイホクグループは
年間700万㎡の国産材を活用(HWP)し
合板の炭素貯蔵力で地球の未来を笑顔にします

国産材 700!

セイホク株式会社 東京都文京区本郷1-25-5 TEL:03(3816)1031 FAX:03(3814)8299
宮城県石巻市重吉町1-7 TEL:0225(22)6511 FAX:0225(95)5867
宮城県石巻市重吉町1-7 TEL:0225(22)6511 FAX:0225(95)5867
秋田県秋田市川尻町字大川反232 TEL:018(823)8511 FAX:018(862)1513
新秋木工業株式会社 秋田県秋田市向浜1-8-2 TEL:018(823)7265 FAX:018(864)8397
ホクヨープライウッド株式会社 岩手県宮古市磯崎2-3-1 TEL:0193(62)3333 FAX:0193(63)3664
株式会社カリヤ 岩手県宮古市刈屋13-11-2 TEL:0193(72)2255 FAX:0193(72)3107
北上プライウッド株式会社 岩手県北上市和賀町後藤2-112-1 TEL:0197(73)5500 FAX:0197(73)5505
森の合板協同組合 岐阜県中津川市加子母5371-17 TEL:0573(79)5120 FAX:0573(79)5121
松江エヌエル工業株式会社 島根県松江市八束町江島1376-2 TEL:0852(76)3730 FAX:0852(76)3900
新栄合板工業株式会社 熊本県水俣市袋赤岸海50 TEL:0966(63)2141 FAX:0966(63)2145
ファミリーボード株式会社 東京都文京区本郷1-25-5 TEL:03(3816)3366 FAX:03(3816)3699
アイプライ株式会社 秋田県秋田市川尻町字大川反232 TEL:018(823)0511 FAX:018(863)8452



<https://www.seihoku.gr.jp/>

<https://www.aplywood.co.jp/>

窯業系外装材

モエンエクセラード16 グランスペック60 ルビドフラット

＼おかげさまで ニチハは /

20年連続 No.1*

住宅用窯業系外壁材販売数量

※2004年度～2023年度住宅用窯業系外壁材市場 販売数量ベース（株）矢野経済研究所調べ 2024年7月現在

※本調査結果は、定性的な調査・分析手法による推計である。



素晴らしい人間環境づくり

ニチハ株式会社



ニチハ公式インスタグラム

@nichiha_officialjapan



NICHHA_OFFICIALJAPAN

合板市況と今後の見通し

日本合板商業組合東京支部
東京都ベニヤ板問屋協同組合
新風会 猪爪 清和

概 要

2024 年 10 月の新設住宅着工戸数は 69,669 戸（前年同月比 2.9%減）で 6 カ月連続の減少となった。その内、木造住宅は 41,750 戸（前年同月比 2.9%増）で 2 カ月連続の増加となった。季節調整済年率換算値は 77.9 万戸で前月比 2.7%減、4 カ月ぶり減少となる。

利用関係別では、持家が 19,705 戸（前年同月比 9.0%増）で 35 カ月ぶりの増加、貸家は 29,541 戸（同比 6.7%減）で先月の増加から再びの減少、分譲住宅は 19,577 戸（同比 9.3%減）で 6 カ月連続の減少。分譲の内訳は、マンションが 8,837 戸（同比 13.1%減）3 カ月連続の減少、戸建ては 10,511 戸（同比 7.5%減）と 24 カ月連続の減少となった。

持家が増加したが、貸家、分譲住宅が減少したため、全体で前年同月比 2.9%の減少となった。

国内・外合板の供給量

10 月の国内合板生産量 22.6 万 m³（前月比 107.2%、前年同月比 97.8%）と発表され

た。その内、針葉樹合板の生産量は 22.2 万 m³（同比 107.2%、97.9%）となり、出荷量は 22.8 万 m³（同比 110.4%、99.6%）で在庫量は 19.3 万 m³となった。

輸入合板の 10 月度入荷量は 17.7 万 m³（前月比 99.7%、前年同月比 102.1%）となった。国別入荷量は、マレーシアが 4.1 万 m³、インドネシアが 6.3 万 m³、中国が 4.2 万 m³、ベトナムが 3.0 万 m³となっている。

今後の見通し

輸入合板は、現地は価格底打ちの兆しが出てきたが、需要背景は乏しいことや為替の影響もあり、現地への発注量は小ロット傾向となっている。当面はまとまって在庫しづらい展開となってくると思われる。現状、為替変動分の販売価格への転嫁が遅れている点が見受けられるので、欠品アイテムから価格が調整されてくると思われる。そのところを踏まえうえて手当てを進めていただきたい。

国内針葉樹合板の状況は、各メーカーの減産により生産量が抑制される中、出荷は堅調に推移したお陰で在庫量が削減された。各社が下げ止め姿勢を表明したことで価格も落ち着いた相場感になっている。今後もしっかり減産を含めた生産調整を継続すれば、販売価格は安定するし、在庫量が数字で表れれば価格は上昇してくると思われる。

断熱等性能等級 等級6,7に仕様チェンジするなら、
高性能グラスウール+可変調湿気密シート
で始めよう！

高性能グラスウール



ハイレイフ仕様の断熱材

太陽SUNR



可変調湿気密シート



太陽SUNR



SUKATTO SHEET



酒井化学

調湿 すかっとシートプレミアム (MADE IN JAPAN)

PREMIUM



夏・透湿

冬・防湿

高い断熱性能と高精度の施工が可能な「太陽SUNR」に、温暖化が進む日本において、冬(低湿度)は“防湿気密”機能が働き、夏(高湿度)は“透湿”の機能が自動で働く可変調湿気密シート「太陽SUNR すかっとシートプレミアム」の組み合わせで日本の四季を通してご提案いたします。

人と住まいのあいだに

パラマウント硝子工業株式会社
www.pgm.co.jp/contact/



HP



YouTube

持続可能性と
生物多様性に配慮した
継続的な

木材・資材の調達力

住友林業クレスト株式会社



その床、天然より天然

銘樹Mokutone
MEIJYU

色をまとった 天然木の美

銘樹Mokutone
MEIJYU



永大産業株式会社
www.eidai.com

お客様相談センター
☎0120-685-110
受付時間 平日・土曜日 9:00~18:00
休業日 日曜日、祝日、夏期休暇、年末年始

EIDAI

検索

詳しくはホームページでご確認ください。

TOTO



TOTO技術相談室 電話:0570-01-1010 受付時間:(平日)9:00~18:00
(土曜日)9:00~17:00 (日・祝日・夏期休暇・年末年始・当社所定の休日等を除く)
建築専門家のための情報サイト COM-ET (コメット)
https://www.com-et.com
シンラ 商品ページ https://jp.toto.com/products/bath/synla ▶



懇親ゴルフ会を開催し、親睦を深めました

11月6日(水)

第39回 関東四支部合同

戸塚カントリー倶楽部東コースにて 参加 66 名

【成績TOP5】(敬称略)
 優勝 遠藤 又四郎
 準優勝 八木 誠一郎
 3 位 栗原 英樹
 4 位 大橋 謙太
 5 位 荘林 宏毅



北関東支部・東関東支部・東京支部・神奈川支部の四支部を代表して東京支部 小川明範支部長が挨拶
 第39回の優勝者は東関東支部 遠藤又四郎支部長

2024 年度

第三回理事会並びに第二回合板需給懇談会

開催日程 2025 年 3 月 26 日(水)

- 理事会 13:30 ~ 14:30
- 合板需給懇談会 14:45 ~ 16:45
- 懇親会 17:00 ~ 18:30

会 場 LEVEL XXI 東京會館

日合商 2024 年度第三回理事会並びに第二回合板需給懇談会を開催します。

理事・監事におかれましては、万障お繰り合わせのうえ、ご出席賜りますようお願い申し上げます。

開始時間は変更になる場合がございます。

※詳細につきましては、改めてご案内します。

2024 年度

合法木材・持続可能木材の供給認定事業者研修会 スケジュール

第1部「合法木材認定事業者研修会」講師：日合商本部二宮常務理事兼事務局長

第2部「改正 CW 法の概要と登録制度」講師：公益財団法人 日本合板検査会 横山 潤氏

日程	支部	会場
2月14日(金)	東北・南	ホテルメトロポリタン仙台
2月19日(水)	山梨地区	アピオ甲府
3月4日(火)	東北・北	ホテルメトロポリタン盛岡

2024 年度 定期 日合商 WEB セミナー 予定

講師：清水英雄事務所株式会社 代表取締役社長 清水 大悟 氏

第4回：2月21日(金) 14:00 ~ 15:30 開催！

テーマ『建設業界の未来と課題解決へのアプローチ』

概要 新築至上主義から一気にストック市場への変革を迎えつつある日本の不動産市場の整備がもたらす変革に焦点を当て、住宅生活産業界の課題を掘り下げ、日本のストック市場の可能性を考察。持続可能性を踏まえつつ未来志向の住まい方・ビジネスモデルの構築に向けた新しい視座について解説していただきます。

日合商ホームページ トピックスより抜粋

2024.12.18 官公庁からのお知らせ

【林野庁】「モクレボ〜林産物に関するマンスリーレポート〜」

今号は、「ウッドデザイン賞 2024」上位賞受賞作品決定や、前田建設工業株式会社×国（農林水産省、経済産業省、環境省）建築物木材利用促進協定の締結、木材産業における火災の防止、国連気候変動枠組条約第29回締約国会議（COP29）などについて取り上げています。

2024.12.03 官公庁からのお知らせ

【林野庁】改正物流効率化法に基づく関係省令案・告示案のパブリックコメントを開始

2024.12.02 官公庁からのお知らせ

【林野庁】林野庁 HP の更新及び資料『木材産業の現状』の掲載について

林野庁 HP の「木材」項目内に資料『木材産業の現状』を掲載。新たに追加した「資料ライブラリ（木材産業事業者向け）」ページにチラシ・リーフレットのほか、木材関連の事業成果、木材産業課関係予算の概要等を掲載。

日合商 HP
トピックス

日合商各支部・地区支部 活動スケジュール

支部・地区支部	日程	会場	内容
北 陸	1月16日(木)	ホテル日航金沢	役員会（新年会の前に開催）
東 北	1月27日(月)	メトロポリタン仙台	役員会（新年会の前に開催）
北関東	1月30日(木)	ザ・マークグランドホテル	賀詞交歓会
四 国	2月13日(木)	ホテルマイステイズ松山	役員会（新年会の前に開催）
東 京	2月26日(水)	東京會館	役員会・昼食会

2024 年 12 月末現在

【グリーン購入法】に基づき事業者新認定・期限更新した8社

東北	-0036-④	(株)イワベニ	代表取締役	木村 正人
東京	-0125-⑤	江間忠木材(株)	代表取締役	江間 壮一
神奈川	-0012-⑥	(有)銘正産業	代表取締役	渡邊 正樹
神奈川	-0013-⑥	堀内木材(株)	代表取締役	宮田 昌幸
神奈川	-0019-⑥	(有)桐栄材木	代表取締役	桐ヶ谷 利浩
神奈川	-0021-⑥	石橋ホーム資材(株)	代表取締役	堀元 信剛
神奈川	-0022-⑥	瀬沼木材(株)	代表取締役	瀬沼 庄次郎
九州	-0023-⑥	(株)オチアイ	代表取締役	野口 東吾

私たちが
世界のために実現出来ること。

地球と
暮らしを考える。



JKホールディングスグループでは、
持続可能な社会構築を目指す
SDGs参画を通して、現代社会に

蔓延する多くの課題解決に向け取り組みます。

地球資源を暮らしに活かす企業だからこそ、地球の未来を
想い、人、自然、そして経済の発展に貢献します。



JKホールディングス株式会社

東京都江東区新木場1-7-22 TEL.03-5534-3800 <https://www.jkhd.co.jp>